



のろま人形公民館講座の受講生が約50年ぶりの演目の上演に挑みます

のろま人形公民館講座の皆様が、約50年ぶりの上演となる演目「馬駄賃」に挑戦します。

演目の中で登場する木之助が跨る馬の製作は、東北芸術工科大学芸術学部美術科彫刻コース2年の平田凜さんが、同学科の酒井恒太講師の指導のもと手掛けました。馬の材木には、軽くて持ちやすい「桂」の木を使用し、中を空洞にするなど、扱い易いように工夫してあります。

また、「馬駄賃」の上演には東北芸術工科大学のほか、多くの方々のご協力をいただいております。2月27日(金)の最後の練習を経て、3月1日(日)に開催される新穂地区芸能祭で、これまでの練習の成果を披露します。

○演目「馬駄賃」について

呉服屋を営んでいる夫婦が、商品の仕入れに上方へ行かねばならなくなった。しかし、自分たちが行くとお客様に迷惑がかかると思案して、隣に住む木之助に頼むことにする。木之助は、夫婦の依頼を受けて上方への旅に出かける。中山道へ入った頃、馬子に出会って、馬に乗るように勧められる。

馬子は馬駄賃の金額を提示するが、木之助は馬に乗ってやった日当の金額だと勘違いする。それに気付いた馬子は、高い金額を示して木之助が馬に乗るよう仕向ける。

結局、木之助は馬に乗ることとなり、約束した目的地に着く。馬子と木之助は、どちらがお金を払うかで言い争いになり、ついに木之助は……………。

最終練習日について		新穂地区芸能祭について	
日時	令和8年2月27日(金) 19:00~20:00	日時	令和8年3月1日(日) 13:00~16:30(終了予定)
会場	トキのむら元気館	会場	トキのむら元気館
参加者	のろま人形公民館講座 11名		

○その他

3月1日(日)に開催される芸能祭当日は、平田凜さんの訪問はありませんが、東北芸術工科大学芸術学部美術科の酒井講師が来島され、鑑賞される予定です。

最終練習日の取材も可能ですので、取材希望の方は、下記担当者まで事前にご連絡をお願いします。

本件についての問い合わせ先
佐渡市役所新穂行政サービスセンター地域支援係 担当: 中川
電話(直通)0259-22-3111

